

電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正 新旧対照表 （案）

(第53回電波雑音部会 資料No. 4改)

○電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について（20130605商局第3号）【別表第十関係】

① 測定装置の規定の更新

条項番号	現行	改正案	理由
P12 別表第十 第1章 共通事項 2測定装置	測定装置及び測定サイトは平成 10 年度電気通信技術審議会答申『無線妨害波およびイミュニティ測定装置の技術的条件』に準拠したものを使用する。	測定装置及び測定サイトは、平成 19 年 7 月情報通信審議会答申『無線妨害波およびイミュニティ測定装置の技術的条件』、平成 28 年 10 月情報通信審議会答申『「無線妨害波およびイミュニティ測定装置の技術的条件」第 1 部第 1 編 無線周波妨害波及びイミュニティの測定装置・測定用受信機 -』、及び平成 28 年 10 月情報通信審議会答申『「無線妨害波およびイミュニティ測定装置の技術的条件」第 1 部第 4 編 無線周波妨害波及びイミュニティの測定装置・放射妨害波測定用のアンテナと試験場 -』に準拠したものを使用する。	測定装置の規定を最新の総務省答申に置き換える。

② J55022 の削除

条項番号	現行	改正案	理由
P54 別表第十 第 4 章 デジタル技術応用機器 3 測定場所 (備考)	(備考) J55022 に定められたオープンテストサイト及び代替テストサイト(例として、電波暗室)は、本規定による測定場所に該当する。	削除	測定場所については、上記の情報通信審議会答申で規定されている。
P54 別表第十 第 4 章 デジタル技術応用機器 4 供試器の配置 (1) (備考)	(備考) 雑音電界強度の測定について、上記規定を補足する目的で J55022 の該当する規定を準用する。	削除	別表第十から別表第十二基準を引用することをやめる。
P55 別表第十 第 4 章 デジタル技術応用機器 4 供試器の配置 (2) (備考)	(備考) 雑音端子電圧の測定について、上記規定を補足する目的で J55022 の該当する規定を準用する。	削除	同上

P55 別表第十 第 4 章 デジタル技術応用機器 5 供試器の動作状態 5.1 共通事項 (備考)	(備考) 供試器の動作について、上記規定を補足する目的で J55022 の該当する規定を準用する。	削除	同上
--	---	----	----

③ J55013 の削除

条項番号	現行	改正案	理由																				
P42~43 別表第十 第 3 章 ラジオ受信機及びテレビジョン受信機並びに関連機器等 2 測定方法 2.3.8.8 測定方法 付表 3-2 負荷条件の個別試験条件	<div>(付表右欄備考部分 4 か所) J55013</div> <div>付表 3－2 負荷条件の個別事項</div> <div>機器により個別に規定する負荷条件は次の通りとする。本表に規定していない事項は共通事項による。</div> <table><tr><th>品 名</th><th>負荷条件及び試験条件</th><th>備——考</th></tr><tr><td>音声録音再生機器 (テープレコーダー、C Dプレーヤー、レコード プレーヤー、MDレコー ダー等)</td><td>・適切な媒体又は事前に録音した媒体から供給 される 1 kHz の正弦波信号を連続的に再生 動作させる。 ただし、供試器に録音機能がある場合には、 録音媒体をかけ録音状態にして連続的に動 作させる。</td><td>J55013</td></tr><tr><td>映像録画再生機器 (ビデオテープレコー ダー、DVDプレーヤー 等)</td><td>・カラーバー信号 (ITU-R 勧告 BT471-1:1994 の 規格で定義したテレビジョンカラーバー信 号及びパターン (図 3-13 参照)) が記録さ れたテープ／ディスクを使って連続的に再 生動作させる。</td><td>J55013</td></tr><tr><td>オーディオ増幅器</td><td>・ボリュームを最大位置にし、入力信号 (印加 周波数は 1,000Hz (1,000Hz が帯域内にない 場合は、その帯域の可聴中心周波数とす る。) の大きさを調節して、出力信号に波形 歪み又はクリッピングが現れ始める時の出 力電力 (以下「クリッピング出力」という。) を求める。その後クリッピング出力の 1/8 に なるように調節する。</td><td>J55013</td></tr></table>	品 名	負荷条件及び試験条件	備——考	音声録音再生機器 (テープレコーダー、C Dプレーヤー、レコード プレーヤー、MDレコー ダー等)	・適切な媒体又は事前に録音した媒体から供給 される 1 kHz の正弦波信号を連続的に再生 動作させる。 ただし、供試器に録音機能がある場合には、 録音媒体をかけ録音状態にして連続的に動 作させる。	J55013	映像録画再生機器 (ビデオテープレコー ダー、DVDプレーヤー 等)	・カラーバー信号 (ITU-R 勧告 BT471-1:1994 の 規格で定義したテレビジョンカラーバー信 号及びパターン (図 3-13 参照)) が記録さ れたテープ／ディスクを使って連続的に再 生動作させる。	J55013	オーディオ増幅器	・ボリュームを最大位置にし、入力信号 (印加 周波数は 1,000Hz (1,000Hz が帯域内にない 場合は、その帯域の可聴中心周波数とす る。) の大きさを調節して、出力信号に波形 歪み又はクリッピングが現れ始める時の出 力電力 (以下「クリッピング出力」という。) を求める。その後クリッピング出力の 1/8 に なるように調節する。	J55013	<div>付表右欄備考欄の削除</div> <div>付表 3－2 負荷条件の個別事項</div> <div>機器により個別に規定する負荷条件は次の通りとする。本表に規定していない事項は共通事項による。</div> <table><tr><th>品 名</th><th>負荷条件及び試験条件</th></tr><tr><td>音声録音再生機器 (テープレコーダー、C Dプレーヤー、レコード プレーヤー、MDレコー ダー等)</td><td>・適切な媒体又は事前に録音した媒体から供給される 1kHz の正弦波信号を連続的に再生動作させる。 ただし、供試器に録音機能がある場合には、録音媒体 をかけ録音状態にして連続的に動作させる。</td></tr><tr><td>映像録画再生機器 (ビデオテープレコー ダー、DVDプレーヤー 等)</td><td>・カラーバー信号 (ITU-R 勧告 BT471-1:1994 の規格で 定義したテレビジョンカラーバー信号及びパター ン (図 3-13 参照)) が記録されたテープ／ディス クを使って連続的に再生動作させる。</td></tr><tr><td>オーディオ増幅器</td><td>・ボリュームを最大位置にし、入力信号 (印加周波数 は1,000Hz (1,000Hz が帯域内にない場合は、その 帯域の可聴中心周波数とする。) の大きさを調節し て、出力信号に波形歪み又はクリッピングが現れ 始める時の出力電力 (以下「クリッピング出力」と いう。) を求める。その後クリッピング出力の 1/8 になるように調節する。</td></tr></table>	品 名	負荷条件及び試験条件	音声録音再生機器 (テープレコーダー、C Dプレーヤー、レコード プレーヤー、MDレコー ダー等)	・適切な媒体又は事前に録音した媒体から供給される 1kHz の正弦波信号を連続的に再生動作させる。 ただし、供試器に録音機能がある場合には、録音媒体 をかけ録音状態にして連続的に動作させる。	映像録画再生機器 (ビデオテープレコー ダー、DVDプレーヤー 等)	・カラーバー信号 (ITU-R 勧告 BT471-1:1994 の規格で 定義したテレビジョンカラーバー信号及びパター ン (図 3-13 参照)) が記録されたテープ／ディス クを使って連続的に再生動作させる。	オーディオ増幅器	・ボリュームを最大位置にし、入力信号 (印加周波数 は1,000Hz (1,000Hz が帯域内にない場合は、その 帯域の可聴中心周波数とする。) の大きさを調節し て、出力信号に波形歪み又はクリッピングが現れ 始める時の出力電力 (以下「クリッピング出力」と いう。) を求める。その後クリッピング出力の 1/8 になるように調節する。	別表第十から別表第十二基準を引用することをやめる。
品 名	負荷条件及び試験条件	備——考																					
音声録音再生機器 (テープレコーダー、C Dプレーヤー、レコード プレーヤー、MDレコー ダー等)	・適切な媒体又は事前に録音した媒体から供給 される 1 kHz の正弦波信号を連続的に再生 動作させる。 ただし、供試器に録音機能がある場合には、 録音媒体をかけ録音状態にして連続的に動 作させる。	J55013																					
映像録画再生機器 (ビデオテープレコー ダー、DVDプレーヤー 等)	・カラーバー信号 (ITU-R 勧告 BT471-1:1994 の 規格で定義したテレビジョンカラーバー信 号及びパターン (図 3-13 参照)) が記録さ れたテープ／ディスクを使って連続的に再 生動作させる。	J55013																					
オーディオ増幅器	・ボリュームを最大位置にし、入力信号 (印加 周波数は 1,000Hz (1,000Hz が帯域内にない 場合は、その帯域の可聴中心周波数とす る。) の大きさを調節して、出力信号に波形 歪み又はクリッピングが現れ始める時の出 力電力 (以下「クリッピング出力」という。) を求める。その後クリッピング出力の 1/8 に なるように調節する。	J55013																					
品 名	負荷条件及び試験条件																						
音声録音再生機器 (テープレコーダー、C Dプレーヤー、レコード プレーヤー、MDレコー ダー等)	・適切な媒体又は事前に録音した媒体から供給される 1kHz の正弦波信号を連続的に再生動作させる。 ただし、供試器に録音機能がある場合には、録音媒体 をかけ録音状態にして連続的に動作させる。																						
映像録画再生機器 (ビデオテープレコー ダー、DVDプレーヤー 等)	・カラーバー信号 (ITU-R 勧告 BT471-1:1994 の規格で 定義したテレビジョンカラーバー信号及びパター ン (図 3-13 参照)) が記録されたテープ／ディス クを使って連続的に再生動作させる。																						
オーディオ増幅器	・ボリュームを最大位置にし、入力信号 (印加周波数 は1,000Hz (1,000Hz が帯域内にない場合は、その 帯域の可聴中心周波数とする。) の大きさを調節し て、出力信号に波形歪み又はクリッピングが現れ 始める時の出力電力 (以下「クリッピング出力」と いう。) を求める。その後クリッピング出力の 1/8 になるように調節する。																						

	<table><tr><td>電子楽器及び電気楽器</td><td><ul style="list-style-type: none">・音階C（ド）の音（約5 2 3Hz）を発生させる<p>鍵を押す。又、疑義が生じない場合においては、供試器にデモ演奏あるいはオートリズム等の機能が内蔵されているものを使用することができる。供試器自身にこれらの機能がないものは、1 kHz の正弦波を外部より印加する。</p></td><td>J55013</td></tr></table>	電子楽器及び電気楽器	<ul style="list-style-type: none">・音階C（ド）の音（約5 2 3Hz）を発生させる <p>鍵を押す。又、疑義が生じない場合においては、供試器にデモ演奏あるいはオートリズム等の機能が内蔵されているものを使用することができる。供試器自身にこれらの機能がないものは、1 kHz の正弦波を外部より印加する。</p>	J55013	<table><tr><td>電子楽器及び電気楽器</td><td><ul style="list-style-type: none">・音階C（ド）の音（約5 2 3Hz）を発生させる鍵を押す。又、疑義が生じない場合においては、供試器にデモ演奏あるいはオートリズム等の機能が内蔵されているものを使用することができる。供試器自身にこれらの機能がないものは、1 kHz の正弦波を外部より印加する。</td></tr></table>	電子楽器及び電気楽器	<ul style="list-style-type: none">・音階C（ド）の音（約5 2 3Hz）を発生させる鍵を押す。又、疑義が生じない場合においては、供試器にデモ演奏あるいはオートリズム等の機能が内蔵されているものを使用することができる。供試器自身にこれらの機能がないものは、1 kHz の正弦波を外部より印加する。	
電子楽器及び電気楽器	<ul style="list-style-type: none">・音階C（ド）の音（約5 2 3Hz）を発生させる <p>鍵を押す。又、疑義が生じない場合においては、供試器にデモ演奏あるいはオートリズム等の機能が内蔵されているものを使用することができる。供試器自身にこれらの機能がないものは、1 kHz の正弦波を外部より印加する。</p>	J55013						
電子楽器及び電気楽器	<ul style="list-style-type: none">・音階C（ド）の音（約5 2 3Hz）を発生させる鍵を押す。又、疑義が生じない場合においては、供試器にデモ演奏あるいはオートリズム等の機能が内蔵されているものを使用することができる。供試器自身にこれらの機能がないものは、1 kHz の正弦波を外部より印加する。							

④ J55014-1(H20)の削除

条項番号	現行	改正案	理由																																																																								
<p>P81～92</p> <p>別表第十 第 5 章 電熱器具、電動力応用機器及び配線器具等</p> <p>付表 5－1 負荷条件及び試験条件の個別事項</p>	<p>（付表右欄備考部分 30 か所）J55014-1(H20)</p> <table><tr><th>品 名</th><th>連続性雑音</th><th>不連続性雑音</th><th>備 考</th></tr><tr><td>タンブラースイッチ 中間スイッチ リモートコントロールリレー</td><td>イ) 負荷電流は最大定格の 0.1 とする。 ロ) 負荷は白熱電球とする。ただし、白熱電球は 100V のものとするが定格電圧を印加しないと動作しないものは定格電圧を印加すること。以下配線器具は同じ ハ) 負荷回路は閉路状態とする。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>タイムスイッチ</td><td>イ) 負荷電流は最大定格の 0.1 とする。 ロ) 負荷は白熱電球とする。 ハ) 負荷は点灯状態とする。</td><td>J55014-1(H20) 7.3.7.1</td><td></td></tr><tr><td>（略）</td><td>（略）</td><td></td><td>（略）</td></tr><tr><td>ミシン用コントローラー</td><td>ミシンを負荷とする。 ・布及び縫糸は用いずに最高速度で連続的に動作させる。</td><td>・ミシン用コントローラは、その操作を～ （以下省略）</td><td>J55014-1(H20) 7.2.3.1 及び 7.3.1.15</td></tr><tr><td>（略）</td><td>（略）</td><td></td><td>（略）</td></tr><tr><td>電気温風機</td><td>・最大風量とする。なお冷風時、温風時で測定する。</td><td></td><td>J55014-1(H20) 7.3.4.14</td></tr><tr><td>（略）</td><td>（略）</td><td></td><td>（略）</td></tr><tr><td>電気掃除機</td><td>イ) 測定条件 a) ホースは器体の周りに置く。 b) 付属するホース及び集塵フィルター（目詰まりの無い初期状態）を取りつけ最大風量を得られる配置にセットする。 （以下省略）</td><td></td><td>J55014-1(H20) 7.3.1.1</td></tr></table>	品 名	連続性雑音	不連続性雑音	備 考	タンブラースイッチ 中間スイッチ リモートコントロールリレー	イ) 負荷電流は最大定格の 0.1 とする。 ロ) 負荷は白熱電球とする。ただし、白熱電球は 100V のものとするが定格電圧を印加しないと動作しないものは定格電圧を印加すること。以下配線器具は同じ ハ) 負荷回路は閉路状態とする。			タイムスイッチ	イ) 負荷電流は最大定格の 0.1 とする。 ロ) 負荷は白熱電球とする。 ハ) 負荷は点灯状態とする。	J55014-1(H20) 7.3.7.1		（略）	（略）		（略）	ミシン用コントローラー	ミシンを負荷とする。 ・布及び縫糸は用いずに最高速度で連続的に動作させる。	・ミシン用コントローラは、その操作を～ （以下省略）	J55014-1(H20) 7.2.3.1 及び 7.3.1.15	（略）	（略）		（略）	電気温風機	・最大風量とする。なお冷風時、温風時で測定する。		J55014-1(H20) 7.3.4.14	（略）	（略）		（略）	電気掃除機	イ) 測定条件 a) ホースは器体の周りに置く。 b) 付属するホース及び集塵フィルター（目詰まりの無い初期状態）を取りつけ最大風量を得られる配置にセットする。 （以下省略）		J55014-1(H20) 7.3.1.1	<p>付表右欄備考欄の別表第十二基準にかかる記載内容を削除する。ただし、別表第十の規定で十分ではないものは、J55014-1(H20)の規定から補足する。</p> <table><tr><th>品 名</th><th>連続性雑音</th><th>不連続性雑音</th><th>備 考</th></tr><tr><td>タンブラースイッチ 中間スイッチ リモートコントロールリレー</td><td>イ) 負荷電流は最大定格の 0.1 とする。 ロ) 負荷は白熱電球とする。ただし、白熱電球は 100V のものとするが定格電圧を印加しないと動作しないものは定格電圧を印加すること。以下配線器具は同じ ハ) 負荷回路は閉路状態とする。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>タイムスイッチ</td><td>イ) 負荷電流は最大定格の 0.1 とする。 ロ) 負荷は白熱電球とする。 ハ) 負荷は点灯状態とする。 <u>二)スイッチング動作数を最大にするように調整する。</u></td><td></td><td></td></tr><tr><td>（略）</td><td>（略）</td><td></td><td>（略）</td></tr><tr><td>ミシン用コントローラー</td><td>ミシンを負荷とする。 ・布及び縫糸は用いずに最高速度で連続的に動作させる。</td><td>・ミシン用コントローラは、その操作を～ （以下省略）</td><td></td></tr><tr><td>（略）</td><td>（略）</td><td></td><td>（略）</td></tr><tr><td>電気温風機</td><td>・最大風量とする。なお冷風時、温風時で測定する。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>（略）</td><td>（略）</td><td></td><td>（略）</td></tr><tr><td>電気掃除機</td><td>イ) 測定条件 a) ホースは器体の周りに置く。 b) 付属するホース及び集塵フィルター（目詰まりの無い初期状態）を取りつけ最大風量を得られる配置にセットする。 （以下省略）</td><td></td><td></td></tr></table>	品 名	連続性雑音	不連続性雑音	備 考	タンブラースイッチ 中間スイッチ リモートコントロールリレー	イ) 負荷電流は最大定格の 0.1 とする。 ロ) 負荷は白熱電球とする。ただし、白熱電球は 100V のものとするが定格電圧を印加しないと動作しないものは定格電圧を印加すること。以下配線器具は同じ ハ) 負荷回路は閉路状態とする。			タイムスイッチ	イ) 負荷電流は最大定格の 0.1 とする。 ロ) 負荷は白熱電球とする。 ハ) 負荷は点灯状態とする。 <u>二)スイッチング動作数を最大にするように調整する。</u>			（略）	（略）		（略）	ミシン用コントローラー	ミシンを負荷とする。 ・布及び縫糸は用いずに最高速度で連続的に動作させる。	・ミシン用コントローラは、その操作を～ （以下省略）		（略）	（略）		（略）	電気温風機	・最大風量とする。なお冷風時、温風時で測定する。			（略）	（略）		（略）	電気掃除機	イ) 測定条件 a) ホースは器体の周りに置く。 b) 付属するホース及び集塵フィルター（目詰まりの無い初期状態）を取りつけ最大風量を得られる配置にセットする。 （以下省略）			<p>別表第十から別表第十二基準を引用することをやめる。</p>
品 名	連続性雑音	不連続性雑音	備 考																																																																								
タンブラースイッチ 中間スイッチ リモートコントロールリレー	イ) 負荷電流は最大定格の 0.1 とする。 ロ) 負荷は白熱電球とする。ただし、白熱電球は 100V のものとするが定格電圧を印加しないと動作しないものは定格電圧を印加すること。以下配線器具は同じ ハ) 負荷回路は閉路状態とする。																																																																										
タイムスイッチ	イ) 負荷電流は最大定格の 0.1 とする。 ロ) 負荷は白熱電球とする。 ハ) 負荷は点灯状態とする。	J55014-1(H20) 7.3.7.1																																																																									
（略）	（略）		（略）																																																																								
ミシン用コントローラー	ミシンを負荷とする。 ・布及び縫糸は用いずに最高速度で連続的に動作させる。	・ミシン用コントローラは、その操作を～ （以下省略）	J55014-1(H20) 7.2.3.1 及び 7.3.1.15																																																																								
（略）	（略）		（略）																																																																								
電気温風機	・最大風量とする。なお冷風時、温風時で測定する。		J55014-1(H20) 7.3.4.14																																																																								
（略）	（略）		（略）																																																																								
電気掃除機	イ) 測定条件 a) ホースは器体の周りに置く。 b) 付属するホース及び集塵フィルター（目詰まりの無い初期状態）を取りつけ最大風量を得られる配置にセットする。 （以下省略）		J55014-1(H20) 7.3.1.1																																																																								
品 名	連続性雑音	不連続性雑音	備 考																																																																								
タンブラースイッチ 中間スイッチ リモートコントロールリレー	イ) 負荷電流は最大定格の 0.1 とする。 ロ) 負荷は白熱電球とする。ただし、白熱電球は 100V のものとするが定格電圧を印加しないと動作しないものは定格電圧を印加すること。以下配線器具は同じ ハ) 負荷回路は閉路状態とする。																																																																										
タイムスイッチ	イ) 負荷電流は最大定格の 0.1 とする。 ロ) 負荷は白熱電球とする。 ハ) 負荷は点灯状態とする。 <u>二)スイッチング動作数を最大にするように調整する。</u>																																																																										
（略）	（略）		（略）																																																																								
ミシン用コントローラー	ミシンを負荷とする。 ・布及び縫糸は用いずに最高速度で連続的に動作させる。	・ミシン用コントローラは、その操作を～ （以下省略）																																																																									
（略）	（略）		（略）																																																																								
電気温風機	・最大風量とする。なお冷風時、温風時で測定する。																																																																										
（略）	（略）		（略）																																																																								
電気掃除機	イ) 測定条件 a) ホースは器体の周りに置く。 b) 付属するホース及び集塵フィルター（目詰まりの無い初期状態）を取りつけ最大風量を得られる配置にセットする。 （以下省略）																																																																										

	電気床磨き機	・無負荷とする。	J55014-1(H20) 7.3.1.2	電気床磨き機	・無負荷とする。		
	電気靴磨き機	・無負荷とする。	J55014-1(H20) ZA.1.1	電気靴磨き機	・無負荷とする。		
	電気洗濯機	イ) 水を入れ布地なしで動作させる。 ロ) 給水の温度は製造者の説明書に従うものとする。 <div>ハ) サーモスタットがある場合は ～ (以下省略)</div>	J55014-1(H20) 7.3.1.10	電気洗濯機	イ) 水を入れ布地なしで動作させる。 ロ) 給水の温度は製造者の説明書に従うものとする。 <div>ハ) サーモスタットがある場合は ～ (以下省略)</div>		
	電気脱水機	・無負荷とする。(水、布地なし)	J55014-1(H20) ZA.1.2 メインスイッチのみのものを除く。	電気脱水機	・無負荷とする。(水、布地なし)		
	電気ポンプ	イ) 通常使用する液体を通して行う。 <div>ロ) 電 気 的 に 流 量 を 制 御 す る も の に あ っ て は 、 流 量 調 整 範 囲 の 中 で 最 も 不 利 な と こ ろ に 置 く も の と す る 。</div> <div>ハ) もしプログラム制御によって不連続性雑音が発生するときは、不連続性雑音の発生が最も好ましくない、プログラムについて行うものとする。</div>	J55014-1(H20) ZA.1.3	電気ポンプ	イ) 通常使用する液体を通して行う。 <div>ロ) 電 気 的 に 流 量 を 制 御 す る も の に あ っ て は 、 流 量 調 整 範 囲 の 中 で 最 も 不 利 な と こ ろ に 置 く も の と す る 。</div> <div>ハ) もしプログラム制御によって不連続性雑音が発生するときは、不連続性雑音の発生が最も好ましくない、プログラムについて行うものとする。</div>		
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	
	電気冷蔵庫 電気冷凍庫	・庫内に食品、水等の負荷を入れないで扉を閉め、周囲温度 30±5℃において運転する。測定は貯蔵室部の温度が安定したのち行うものとする。(霜取中は除外する。)温度調節装置は製造業者の指示する通常の使用状態の位置に設定し、指示のない場合は調節目盛範囲の中間に設定する。係数 0.5	J55014-1(H20) 7.3.1.9	電気冷蔵庫 電気冷凍庫	・庫内に食品、水等の負荷を入れないで扉を閉め、周囲温度 30±5℃において運転する。測定は貯蔵室部の温度が安定したのち行うものとする。(霜取中は除外する。)温度調節装置は製造業者の指示する通常の使用状態の位置に設定し、指示のない場合は調節目盛範囲の中間に設定する。係数 0.5		
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	
	電気缶切機	・無負荷とする。	J55014-1(H20) ZA.1.7	電気缶切機	・無負荷とする。		
	電気食品切断機 電気肉ひき機 電気肉切り機 電気パン切り機	・無負荷とする。	J55014-1(H20) ZA.1.8	電気食品切断機 電気肉ひき機 電気肉切り機 電気パン切り機	・無負荷とする。		
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	
	電気食器洗機	イ) 水を入れ、皿を入れずに動作させる。 ロ) 給水の温度は製造者の説明書に従うものとする。 ハ) サーモスタットのある場合はプログラムで設定する最高温度か、又は 90℃のどちらか低い方に調節(±10℃)しなければならない。 ニ) プログラムの最長サイクルによりクリック率Nを決定する。	J55014-1(H20) 7.3.1.11	電気食器洗機	イ) 水を入れ、皿を入れずに動作させる。 ロ) 給水の温度は製造者の説明書に従うものとする。 ハ) サーモスタットのある場合はプログラムで設定する最高温度か、又は 90℃のどちらか低い方に調節(±10℃)しなければならない。 ニ) プログラムの最長サイクルによりクリック率Nを決定する。		
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	

	電気グラインダー	・無負荷で連続運転する。	J55014=1(H20)7.3.2.2	電気グラインダー	・無負荷で連続運転する。		
	電気サンダー	・無負荷で連続運転する。	J55014=1(H20)7.3.2.2	電気サンダー	・無負荷で連続運転する。		
	電気ポリッシャー	・無負荷で連続運転する。	(床みがき機はここには含まない。) J55014=1(H20)7.3.2.2	電気ポリッシャー	・無負荷で連続運転する。		
	電気金切り盤 電気ハンドシャ ー 電気みぞ切り機 電気チューブクリ ーナー 電気タッパー	・無負荷で連続運転する。	J55014=1(H20)7.3.2.2	電気金切り盤 電気ハンドシャ ー 電気みぞ切り機 電気チューブクリ ーナー 電気タッパー	・無負荷で連続運転する。		
	電気ドリル	・無負荷で連続運転する。	J55014=1(H20)7.3.2.2	電気ドリル	・無負荷で連続運転する。		
	電気かん	・無負荷で連続運転する。	J55014=1(H20)7.3.2.2	電気かん	・無負荷で連続運転する。		
	電気のこぎり	・無負荷で連続運転する。	J55014=1(H20)7.3.2.2	電気のこぎり	・無負荷で連続運転する。		
	電気スクレュード ライバー 電動ナットランナ ー	イ) 無負荷で連続運転する。 ロ) 2つの回転方向で使用可能ならば各方向について観測を行う。この場合、それぞれの方向で測定前に 15 分間ならし運転を行う。	J55014=1(H20)7.3.2.2	電気スクレュード ライバー 電動ナットランナ ー	イ) 無負荷で連続運転する。 ロ) 2つの回転方向で使用可能ならば各方向について観測を行う。この場合、それぞれの方向で測定前に 15 分間ならし運転を行う。		
	電気ハンマー 電気ハンマードリ ル	・無負荷で連続運転する。 この場合、できれば振動部分を取り外して動作させること。振動部分を取り外したための回転数等の変化はこれを補償する。	J55014=1(H20)7.3.2.2	電気ハンマー 電気ハンマードリ ル	・無負荷で連続運転する。 この場合、できれば振動部分を取り外して動作させること。振動部分を取り外したための回転数等の変化は電源電圧を下げて補償する。		
	電気噴霧機	・水を負荷とし、連続運転する。	J55014=1(H20)7.3.2.8	電気噴霧機	・水を負荷とし、連続運転する。		
	電気草刈機 電気刈込み機	・無負荷で連続運転する。	J55014=1(H20)7.3.1.19 (電気草刈機) 7.3.2.2 (電気刈込み機)	電気草刈機 電気刈込み機	・無負荷で連続運転する。		
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	
	電気マッサージ器	イ) 無負荷とする。 ロ) 電熱装置を有するものにあつては、これを最大負荷にセットして負荷を入れた場合と入れない場合とについてそれぞれ測定を行う。	J55014=1(H20)7.3.1.6 及び別表第八	電気マッサージ器	イ) 無負荷とする。 ロ) 電熱装置を有するものにあつては、これを最大負荷にセットして負荷を入れた場合と入れない場合とについてそれぞれ測定を行う。	別表第八	
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	
	電動タイプライター	・もし可能ならば電動機はスイッチ雑音によって影響されない安定した読みを妨害波測定器に与えるに十分な時間間隔で運転される。 ・1分間に少なくとも 30 回の起動を伴う間欠運転をする。毎分 30 回の起動ができない場合は毎分の起動を実行可能な限り多くの間欠運転が採用されなければならない。 係数 1.0	J55014=1(H20)7.3.1.16.1 (電動タイプライター)	電動タイプライター	・もし可能ならば電動機はスイッチ雑音によって影響されない安定した読みを妨害波測定器に与えるに十分な時間間隔で運転される。 ・1分間に少なくとも 30 回の起動を伴う間欠運転をする。毎分 30 回の起動ができない場合は毎分の起動を実行可能な限り多くの間欠運転が採用されなければならない。 係数 1.0		

	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)		
	毛髪乾燥機	・アタッチメントは外して測定を行う。	・風量調節装置を有するものにあつては、その風量調節装置のスイッチを最小風量にセットする。	J55014=1(H20)7.3.1.8別表第八	毛髪乾燥機	・アタッチメントは外して測定を行う。	・風量調節装置を有するものにあつては、その風量調節装置のスイッチを最小風量にセットする。	別表第八
	電気乾燥機	・被乾燥物がなくても動作可能な場合は被乾燥物を用いない。		J55014=1(H20)ZA.2.20	電気乾燥機	・被乾燥物がなくても動作可能な場合は被乾燥物を用いない。		
	(略)	(略)		(略)	(略)		(略)	
	電気芝刈機	・車輪その他により芝刈り作業時の姿勢が容易に決まるものにあつてはその姿勢で試験台上に置く。		J55014=1(H20)7.3.1.10	電気芝刈機	イ) 無負荷で連続運転する。 ロ) 車輪その他により芝刈り作業時の姿勢が容易に決まるものにあつてはその姿勢で試験台上に置く。		
	(略)	(略)		(略)	(略)		(略)	
	電動ミシン	・布及び縫糸は用いずに最高速度で連続的に動作させる。	・ミシン用コントローラは、その操作を、始動については、5秒間で“開(停止)”位置から最高速度を与える“閉”位置にする。また停止については、直ちに“開(停止)”位置にすること。 ・始動動作から次の始動動作までの時間は15秒とする。 係数1	J55014=1(H20)7.2.3.1及び7.3.1.15	電動ミシン	・布及び縫糸は用いずに最高速度で連続的に動作させる。	・ミシン用コントローラは、その操作を、始動については、5秒間で“開(停止)”位置から最高速度を与える“閉”位置にする。また停止については、直ちに“開(停止)”位置にすること。 ・始動動作から次の始動動作までの時間は15秒とする。 係数1	
	(略)	(略)		(略)	(略)		(略)	
	直流電源装置	イ) 電池充電用にあつては、50%放電状態の定格容量の電池を負荷とする。 ロ) 電池充電用以外のものは、定格容量になる白熱電球、または、抵抗を負荷とする。 (備考)負荷制御方式により上記の負荷では、定格2次電流に等しい電流が得られないものにあつては、使用を想定する機器を負荷とすることができる。			直流電源装置	イ) 電池充電用にあつては、50%放電状態の定格容量の電池を負荷とする。 ロ) 電池充電用以外のものは、定格容量になる白熱電球、または、抵抗を負荷とする。 (備考)負荷制御方式により上記の負荷では、定格2次電流に等しい電流が得られないものにあつては、使用を想定する機器を負荷とすることができる。		

⑤ 第7章の「別表第四、八 共通事項」の削除

条項番号		現行		改正案		理由
P104 別表第十 第7章 1 許容値 1.1雑音電力の許容値	周 波 数 範 囲 (MHz)	雑 音 電 力 (dB)	周 波 数 範 囲 (MHz)	雑 音 電 力 (dB)	「別表第四、八 共通事項」は、性能規定化以前の古い表記が残っていたものであるため。	
		別表第四、八 共通事項				
	30 以上 300 以下	55	30 以上 300 以下	55		

P104 別表第十 第7章 1 許容値 1.2雑音端子電圧の許容値 (1)連続性雑音端子電圧の許容値	周 波 数 範 囲 (MHz)	電源端子に誘起する雑音端子電圧 (dB)	周 波 数 範 囲 (MHz)	電源端子に誘起する雑音端子電圧 (dB)	「別表第四、八 共通事項」は、性能規定化 以前の古い表記が残っていたものであるた め。
		別表第四、八 共通事項			
	0.5265 以上 5 以下	56	0.5265 以上 5 以下	56	
	5 を超え 30 以下	60	5 を超え 30 以下	60	

注：ページ番号は下記掲載の文書による

通達 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について （平成 25 年 7 月 1 日 20130605 商局第 3 号）（改正：令和 2 年 12 月 1 日 20201109 保局第 1 号）別表第十 雑音の強さ

<https://www.meti.go.jp/policy/consumer/seian/denan/kaishaku/gijutsukijunkaishaku/beppyoudai10.pdf>